

## KAUST 出張報告書

竹山春子研究室 博士後期課程 2 年 西川洋平

### ● 出張の日程

- 2 月 28 日 羽田空港を出発 同日 ジェッダ空港に到着し KAUST へ移動
- 3 月 1 日 KAUST-WASEDA joint workshop に参加
- 3 月 2 日 KAUST-WASEDA joint workshop に参加し、研究発表を行う
- 3 月 3 日 KAUST 施設および KAEC (King Abdullah Economic City) の見学  
KAUST を出発、ジェッダ空港を出発
- 3 月 4 日 成田空港到着

### ● 出張中の経験

この度、平成 28 年度研究拠点形成事業のプログラムを利用することで、サウジアラビアの KAUST (King Abdullah University of Science and Technology) への出張を行った。KAUST に滞在した期間は 3 泊 4 日と短い期間であったが、2 日間のワークショップを通して KAUST という大学について多くを知ることができた。

滞在 1 日目は、空港からタクシー移動を行い、午後 8 時頃に KAUST に到着した。空港から大学までの道は見渡す限りの砂漠が広がっていたのに対し、大学構内は樹木の緑と水で溢れており、多くの資金が投じられていると感じさせるものであった。また、滞在中に宿泊したホテルにおいても設備が非常に充実しており、サウジアラビアにいるということを忘れてしまうほどであった。

滞在 2 日目は大学の食堂で朝食を摂った後、研究棟の会議室にてワークショップが開催された。はじめに、五條堀孝先生より KAUST についての紹介をしていただいた。午後からは各研究室の代表の方からの研究発表があり、KAUST で行われている研究の内容を知ることができた。

滞在 3 日目は、2 日目と同様ワークショップが開催された。午後からの発表では、各大学から参加した学生のショートプレゼンテーションの時間もあり、私も自身の研究内容を発表した。私の研究テーマは、五條堀先生の研究室で行われている研究と共通する部分があり、数人の参加者に興味を持ってもらうことができた。ワークショップの後、KAUST の峯田克彦先生より声をかけていただき、研究室の実験施設を見学させていただいた。施設内では、Hayedeh、Amani

の2名が研究室の案内をしてくれた。Amaniは2016年に私が所属する竹山春子研究室に短期滞在しており、実験の進捗などをお互いに報告した。

滞在4日目は、バスツアーが開催され、KAUST大学内およびKAECと呼ばれる現在開発中の経済特区の見学を行った。3日目までに見学できたのは徒歩で移動が可能な範囲内であったが、バスでの移動によってKAUST内の敷地が想像よりもずっと広大であることがわかった。大学の敷地内では現在も開発が進んでおり、さらに拡大を続けていることにも驚きを受けた。ツアーの後は再びタクシーを用いて空港まで移動し、その日のうちに帰国の途についた。

4日間の滞在は、私にとって驚きの連続であった。KAUST内の建物は、一見そこがアメリカではないかと錯覚するほどに整備がなされていた。また、滞在期間中は構内の様々なレストランで食事を用意していただいたが、そのどれもが日本やその他の国ともほとんど変わらないものであった。実際に、KAUSTではアメリカやヨーロッパ出身の方々が多く、これらの研究者が不自由なく日々の生活と研究活動を送ることが可能な設備が整えられていた。今回の滞在中を通じて、サウジアラビアという国がいかにかに大学研究に力を入れているかについて、身をもって感じることもできた。また滞在中、KAUSTの研究者に対して自身の研究テーマをプレゼンテーションする時間が取れたことは、私にとって非常に貴重な体験となった。